

建物概要					外部仕上								
工事名	仮称)TOWN東1南23 A棟 長屋新築工事				屋根	長尺カラー鉄板t=0.35、ゴム改質ルーフィング22Kg、下地-構造用合板t=12.5(実付)							
建設地	北海道帯広市東1条南23丁目1-2、3-2のうち				外壁	防火サイディング14t(PC030BE-9201)、通気層18t、下地-構造用パネル9.0t(4級)							
用途	(区分 08020) 長屋住宅				軒天井	アスノンt=11.0(QF045RS-0082)AEP塗装							
構造	枠組壁工法(省令準耐火)				基礎	鉄筋コンクリート造布基礎引AEP塗装、床下換気-KS-0313P、基礎根入=GL-1000(凍結深度)							
耐火建築物					建具	内部木製建具及び造付家具全て F☆☆☆☆ 脂サシ、断熱アルミ玄関戸							
特記	内装 石膏ボード 12.5mm	NM-8619			ポーチ	床:磁器タイル、壁:外壁と同じ、天井:アスノンt=11.0							
(認定番号)	普通紙塩化ビニル樹脂化粧壁紙張	QM-9229			犬走り	化粧砂利敷							
	キッチンパネル(メラミン不燃化粧板)	NM-2183			断熱工事	※矩計図参照							
	外壁 防火サイディングt=14.0	PC030BE-9201											
	軒天 アスノン t=11.0	QF045RS-0082(QF045RS-0081)											
面積表					内部仕上								
敷地面積					室名	床	巾木	壁	天井	台輪	天井高	備考	
敷地面積		315.18㎡			1階	※ 内装材は全てF☆☆☆☆							
用途地域		第1種住居			玄関	100角タイル	タイル	Vクロス	Vクロス	見切	2,500	下駄箱	
建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合		200.00%				コンクリート		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t				
建築物の建築面積の敷地面積に対する割合		70.00%(角地+10%)			ホール	フロア合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420		
						構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t				
					居間、台所	フロア合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	キッチン、換気設備、給気設備	
						構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t			(流前キッチンパネル不燃材料)	
建築面積					脱衣室、洗面所	CFシート1.8t	ビニル	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	洗濯機置場、洗面	
申請部分1		申請以外の部分			便所	構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t			換気設備	
建築面積		169.16㎡				CFシート1.8t	ビニル	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	便器、手洗い、	
建築面積の敷地面積に対する割合		53.68%			構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t				換気設備	
延べ面積					浴室	ユニットバス(1616)						換気設備	
申請部分		申請以外の部分			階段		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t					
建築物全体		331.70㎡				フロア合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	階段手摺、階段既製品	
地階の住宅部分					構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t					
車庫等の部分													
延面積		331.70㎡											
延面積の敷地面積に対する割合		105.25%			洋室A	フロア合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	給気設備	
面積表					CI	構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t				
申請部分		申請以外の部分				フロア合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420	収納棚、ステンパイプ、枕棚	
2F		169.16㎡			構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t					
1F		162.54㎡											
B1					洋室B	フロア合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420		
合計		331.70㎡			構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t				給気設備	
		81.14㎡			洋室C	フロア合板12t	既成品	Vクロス	Vクロス	見切	2,420		
					構造用合板15.5t		石膏ボード12.5t	石膏ボード12.5t				給気設備	
特記事項													
Vクロスは全て準不燃材料とし、下地は全てPB12.5t(不燃)以上とする。(壁、天井共通)													
ガス調理器													





帯広市東1条南23丁目1-2、3-2のうち

案内図

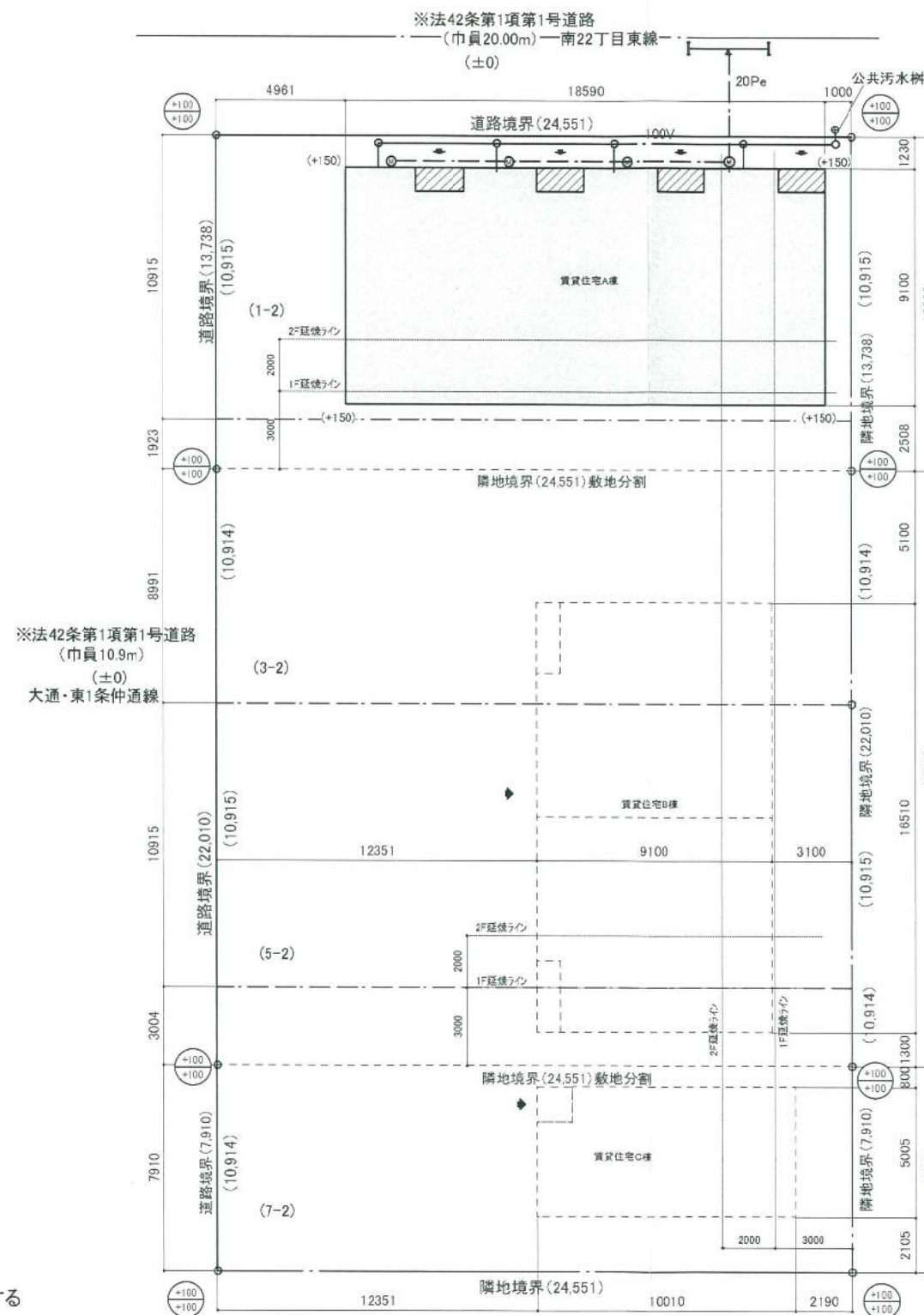


街区図



※設計GL=前面道路+150  
 ※上下水道は関係法令に基づき設置する  
 ※雨水は敷地内にて処理する

敷地球積			
1-2)	10.915	×	24.551 = 267.97417
3-2)	1.923	×	24.551 = 47.21157
Total			= 315.18574



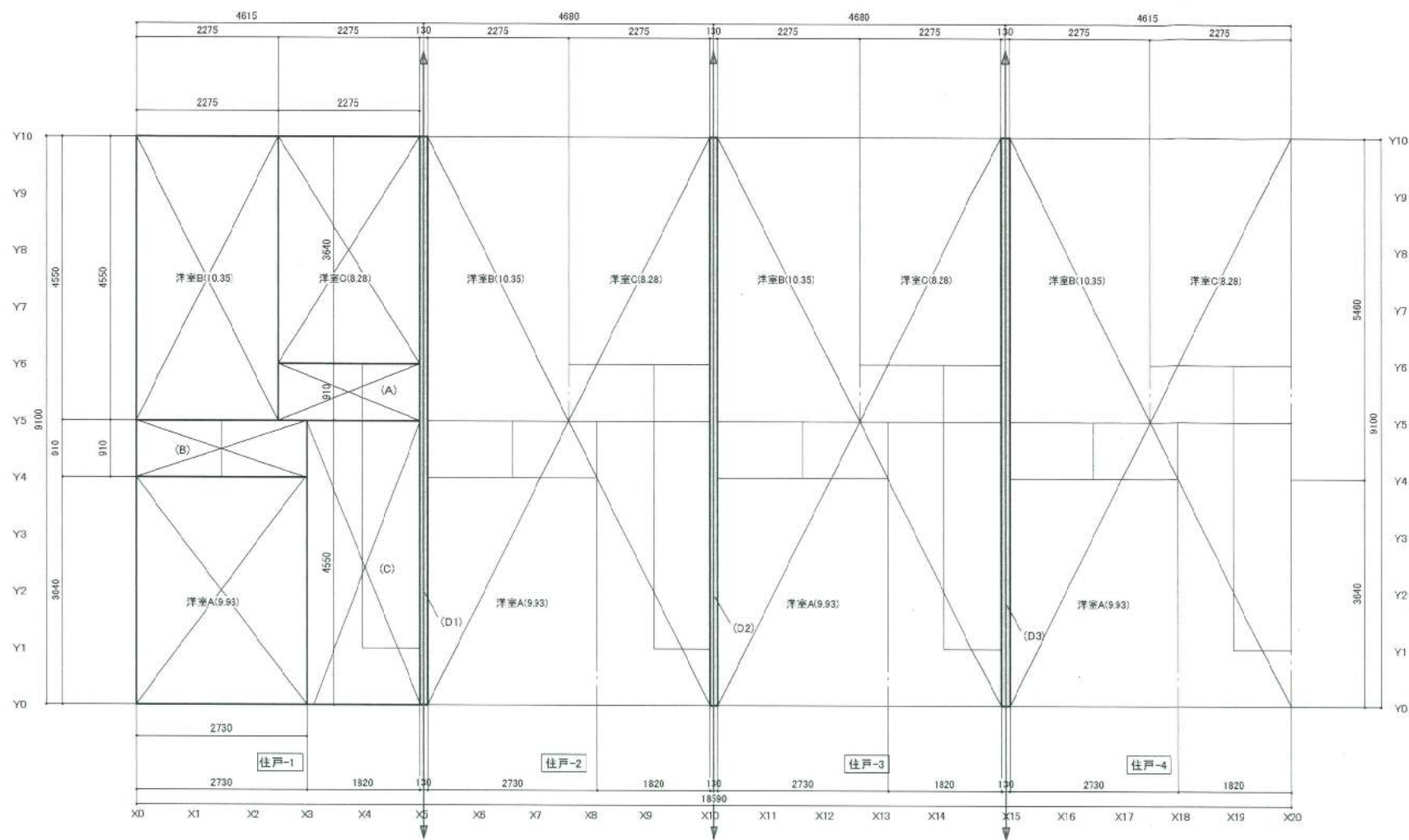
※法42条第1項第1号道路  
 (巾員10.9m)  
 (±0)  
 大通・東1条仲通線

凡例  
 +200 設計レベル  
 +230 現状レベル

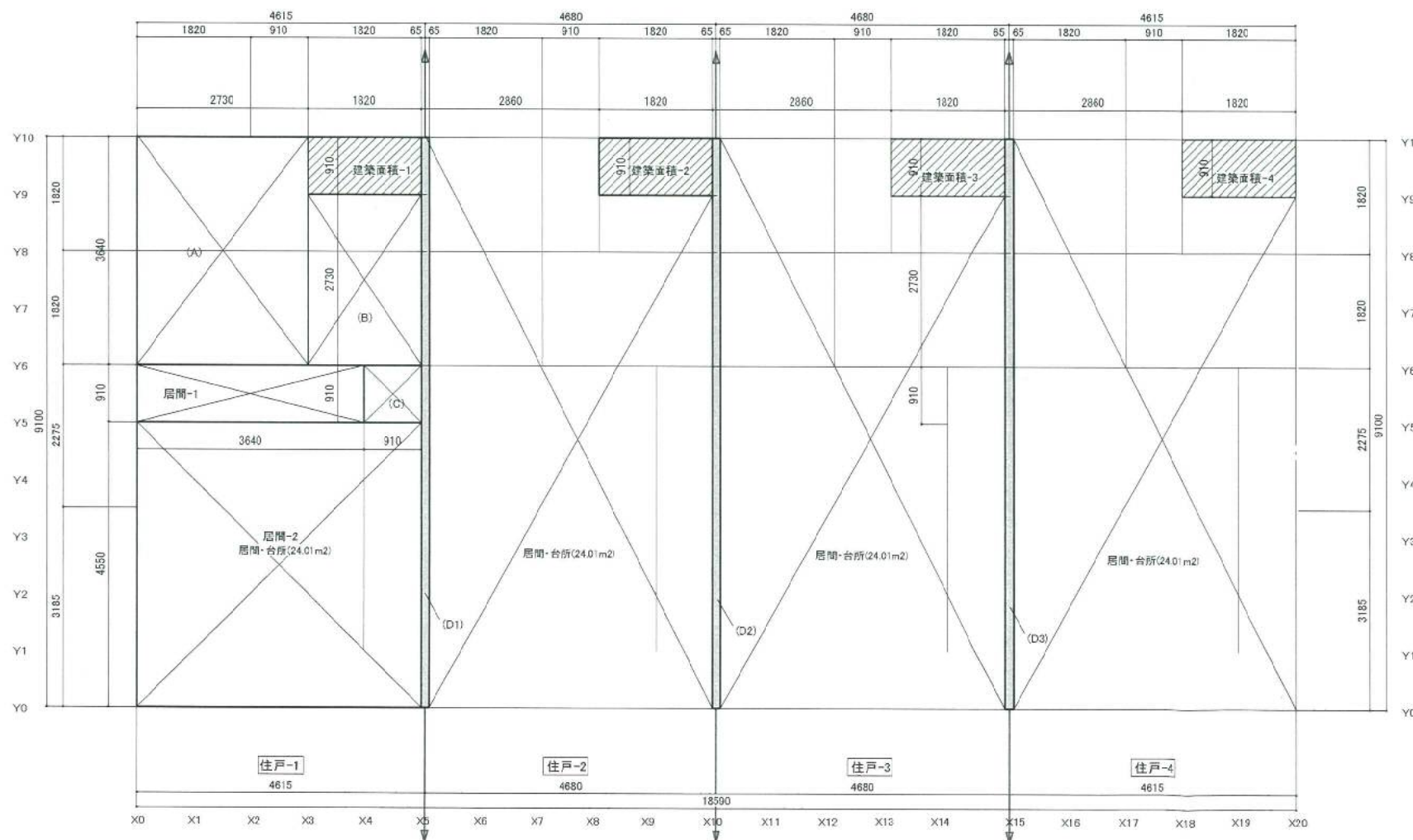
配置図

申請位置 - 帯広市東1条南23丁目1-2、3-2のうち



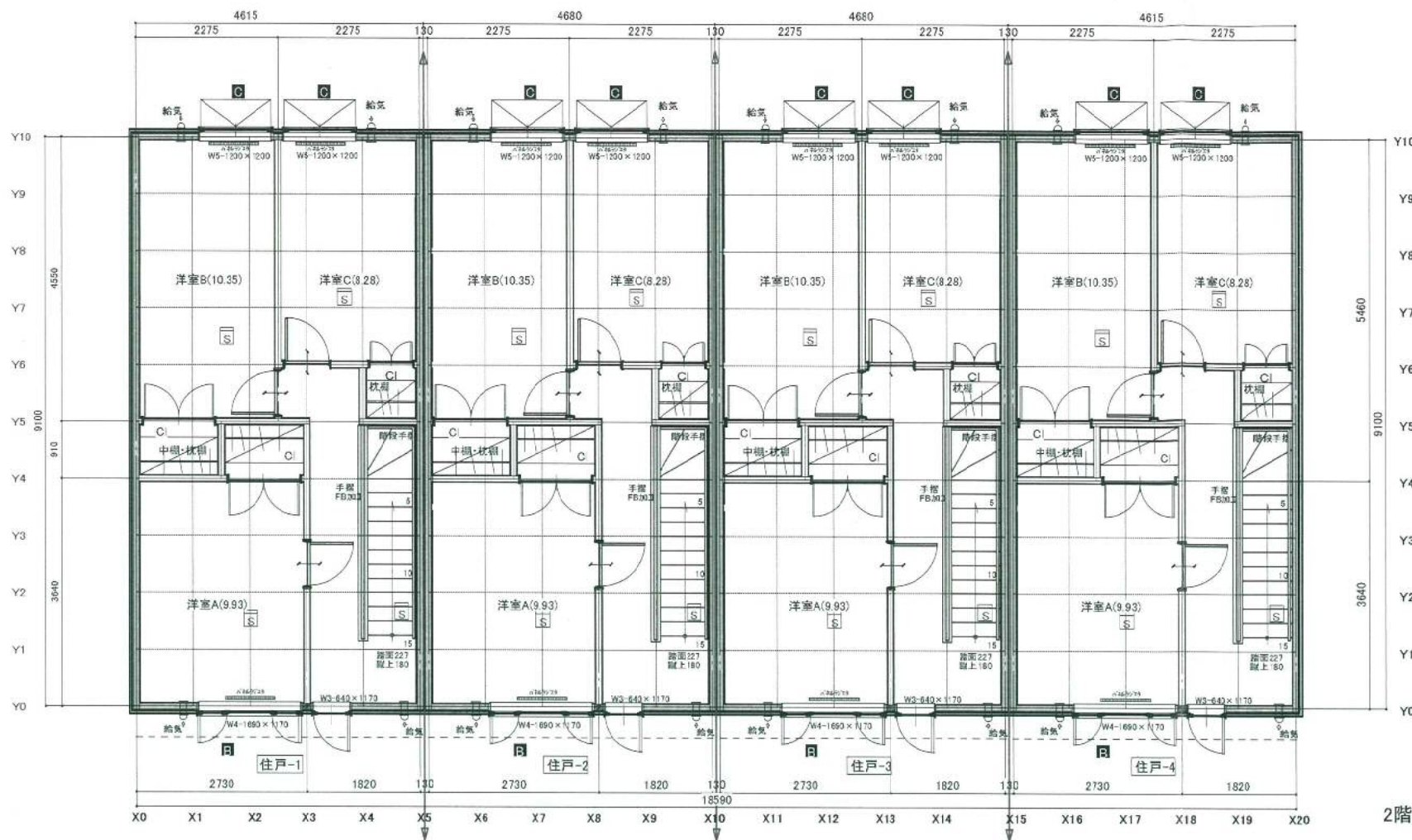


2階床面積			
住戸-1			
洋室A	3.640	×	2.730 = 9.93720
洋室B	4.550	×	2.275 = 10.35125
洋室C	3.640	×	2.275 = 8.28100
A	0.910	×	2.275 = 2.07025
B	0.910	×	2.7300 = 2.48430
C	4.550	×	1.820 = 8.28100
住戸1 計			= 41.40500
住戸-2			= 41.40500
住戸-3			= 41.40500
住戸-4			= 41.40500
D1	9.100	×	0.1300 = 1.18300
D2	9.100	×	0.1300 = 1.18300
D3	9.100	×	0.1300 = 1.18300
Total			= 169.16900



1階床面積			
住戸-1			
居室-1	0.910	×	3.640 = 3.31240
居室-2	4.550	×	4.5500 = 20.70250
A	3.640	×	2.730 = 9.93720
B	2.730	×	1.820 = 4.96860
C	0.910	×	0.9100 = 0.82810
住戸1 計			= 39.74880
住戸-2			= 39.74880
住戸-3			= 39.74880
住戸-4			= 39.74880
D1	9.100	×	0.1300 = 1.18300
D2	9.100	×	0.1300 = 1.18300
D3	9.100	×	0.1300 = 1.18300
Total			= 162.5442
建築面積			
1)	0.910	×	1.820 = 1.65620
2)	0.910	×	1.820 = 1.65620
3)	0.910	×	1.820 = 1.65620
4)	0.910	×	1.820 = 1.65620
Total			= 6.62480
162.5442 + 6.62480			= 169.1690





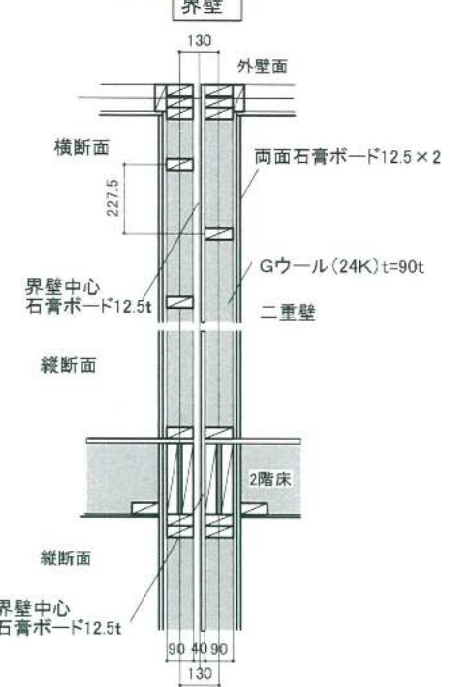
2階床面積 169.16㎡(51.26坪)



防火、遮音界壁(軒先まで) (QF045BP-9077) 平成14年5月17日  
両面準耐火構造(令114条)

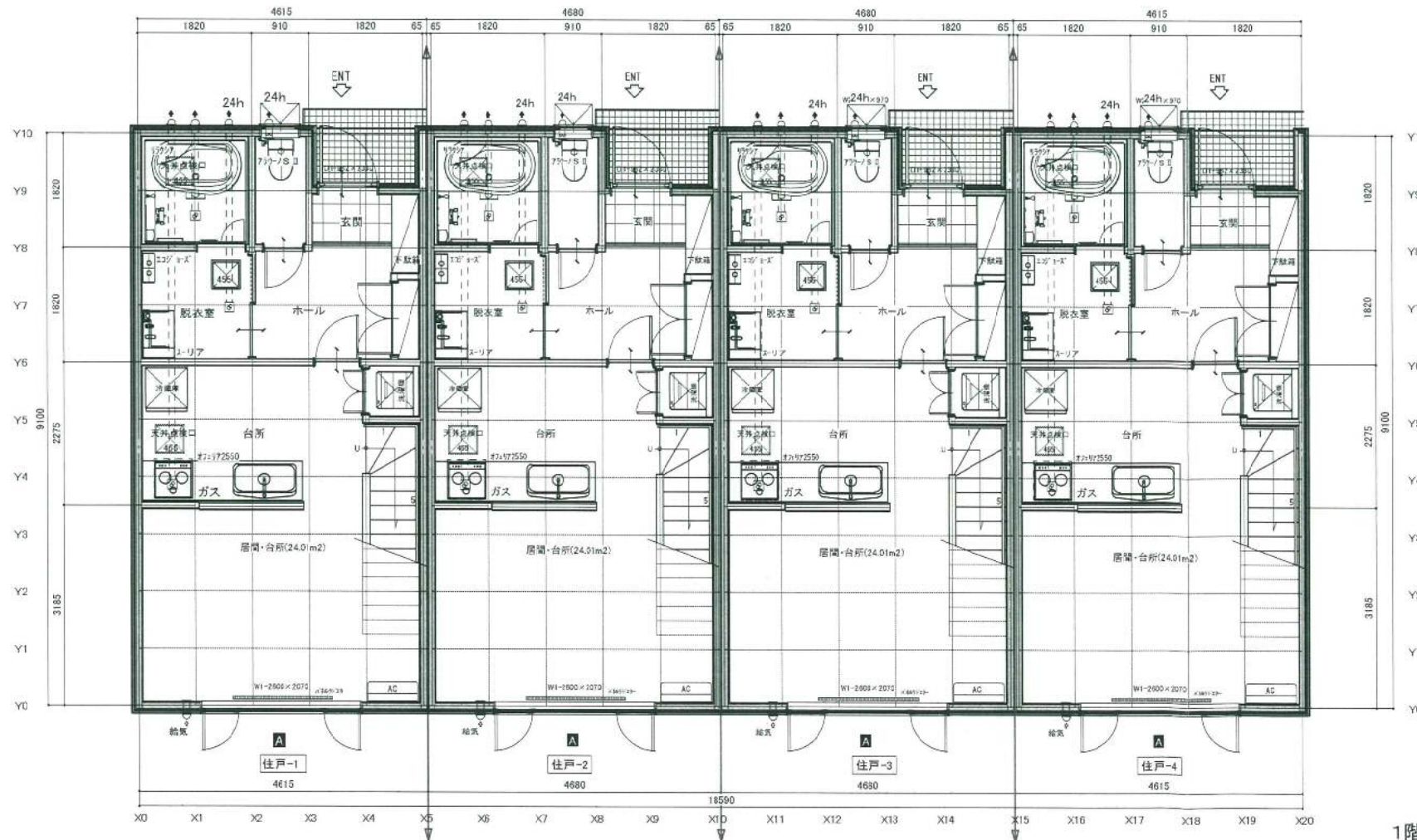
室名		洋室B	
室面積		10.35	㎡
排煙	必要	10.35 / 50	= 0.207
	有効	×	=
採光	必要	10.35 / 7	= 1.479
	有効	B	1.20 × 1.20 = 1.440
		補正	1.44 × 3.00 = 4.320
換気	必要	10.35 / 20	= 0.518
	有効	B	1.15 × 1.15 = 1.323
室名		洋室A	
室面積		9.93	㎡
排煙	必要	9.93 / 50	= 0.199
	有効	×	=
採光	必要	9.93 / 7	= 1.419
	有効	B	1.69 × 1.17 = 1.977
換気	必要	9.93 / 20	= 0.497
	有効	B	1.00 × 1.02 = 1.020

防火、遮音界壁詳細図  
両面防火構造(令114条)



(QF045BP-9077) 平成14年5月17日

※給水管、配電管等で界壁貫通部分なし

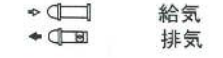


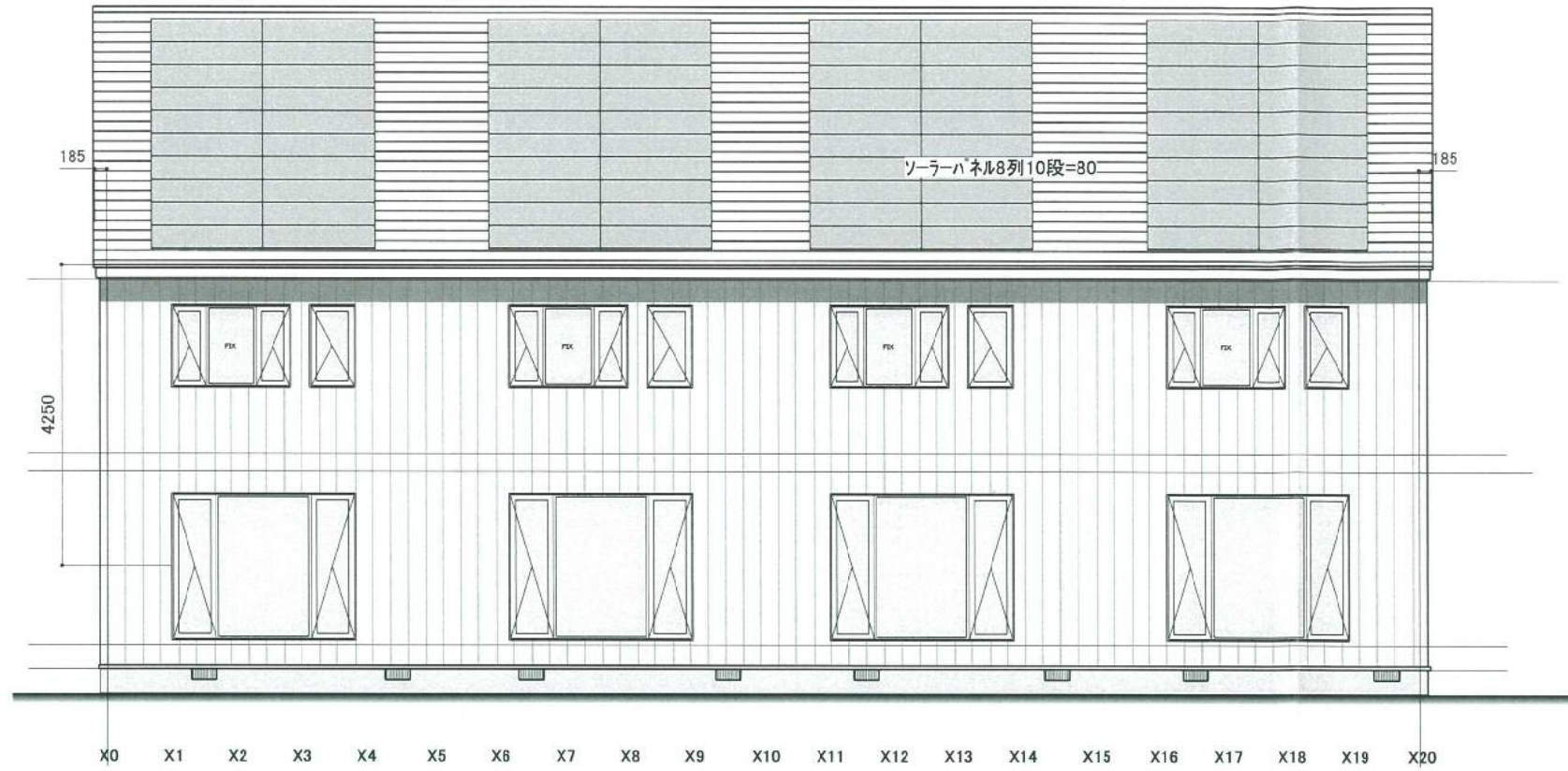
1階床面積 162.54㎡(49.25坪)

消防法関係	
ロールカーテン→防災処理品使用	※レンジ排気筒壁側部分はロックール保温材巻(t=50)とし天井ハッチ取付 ※レンジ排気筒(重鉛鉄板t=0.6(φ100)以上) ※流し前キッチンパネル(不燃材料)貼
Ⓕ ABC粉末消火器 10型設置(1F:台所)※各住戸1台	

室名		居間・台所	
室面積		24.01	㎡
排煙	必要	24.01 / 50	= 0.480
	有効	×	=
採光	必要	24.01 / 7	= 3.430
	有効	A	2.600 × 2.07 = 5.382
換気	必要	24.01 / 20	= 1.201
	有効	A	1.30 × 2.05 = 2.665

住宅用火災警報器(検定マーク) (煙感知)

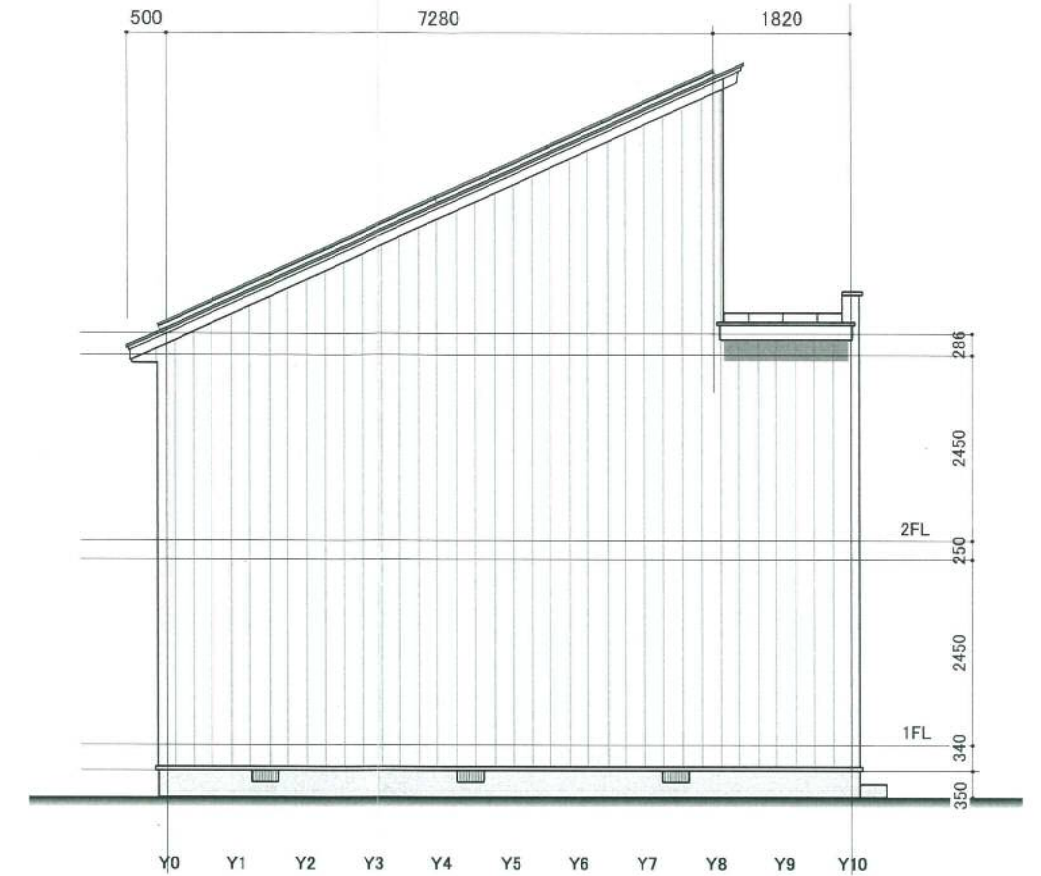




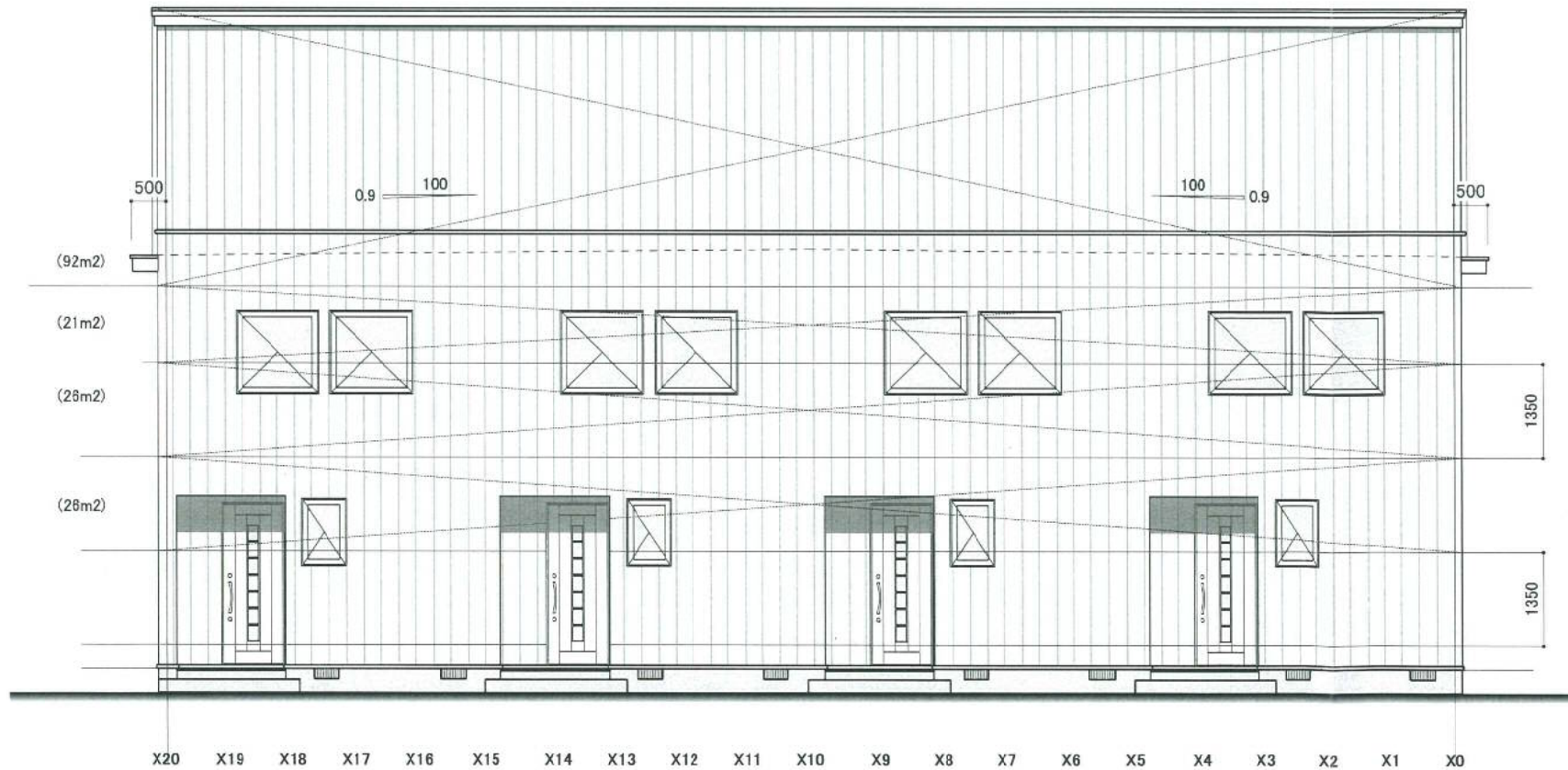
South Elevation

有効採光面積チェック			
居間	各寸法は平面参照		24.01 m <sup>2</sup>
	開口面積	2.600 × 2.070 =	5.38 m <sup>2</sup>
	必要開口部	24.01 / 7 =	3.43 m <sup>2</sup>
採光関係比率の検討			
	採光関係比率	1.88 / 4.25 =	0.44
	水平距離(軒先より敷地境界)		1.88 m
	開口中心までの距離		4.25 m
	採光補正係数(採光関係比率 × 6) - 1.4		1.254
	有効開口面積	5.382 × 1.254 =	6.75 m <sup>2</sup>

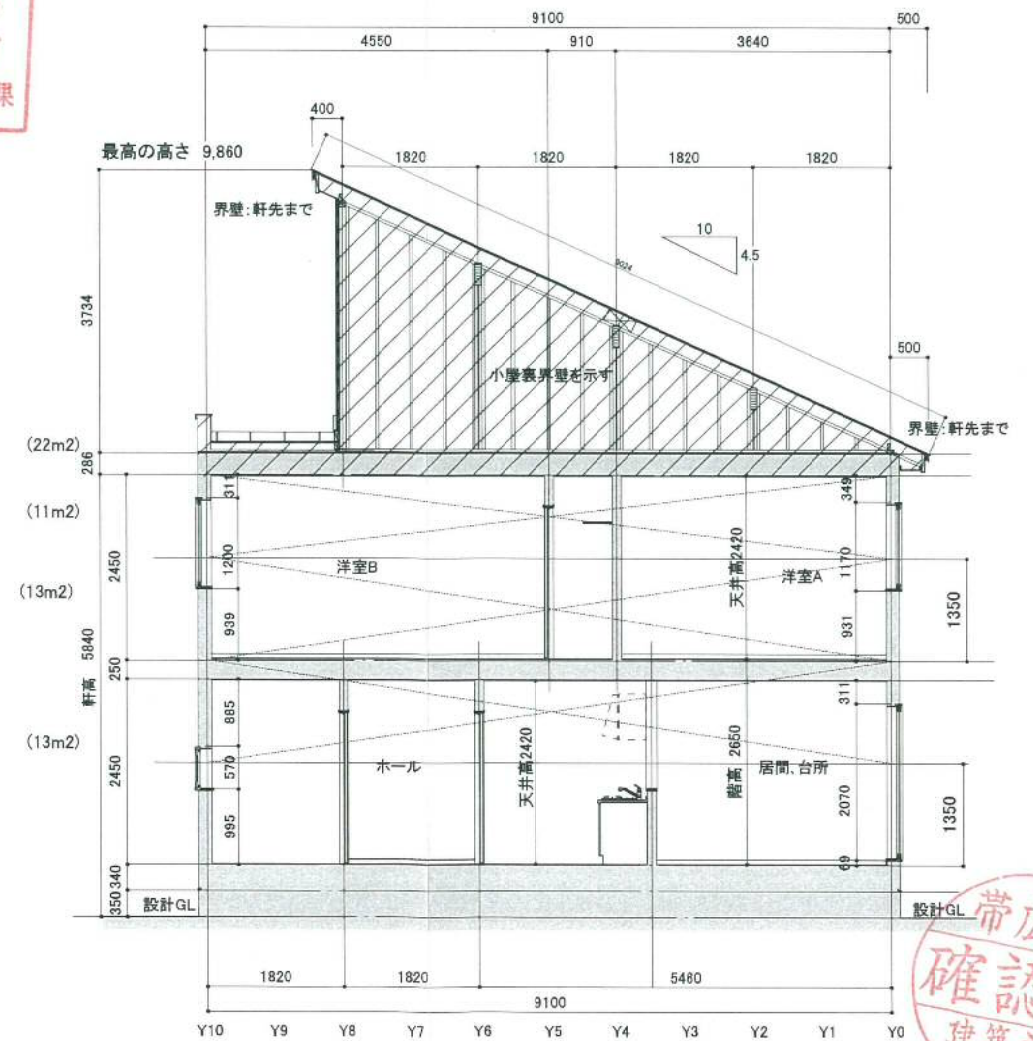
氷雪の落下により危害を生ずる恐れがある  
建築物の屋根面には雪止めを設ける等の有  
効な措置を講じて下さい。帯広市建築指導課

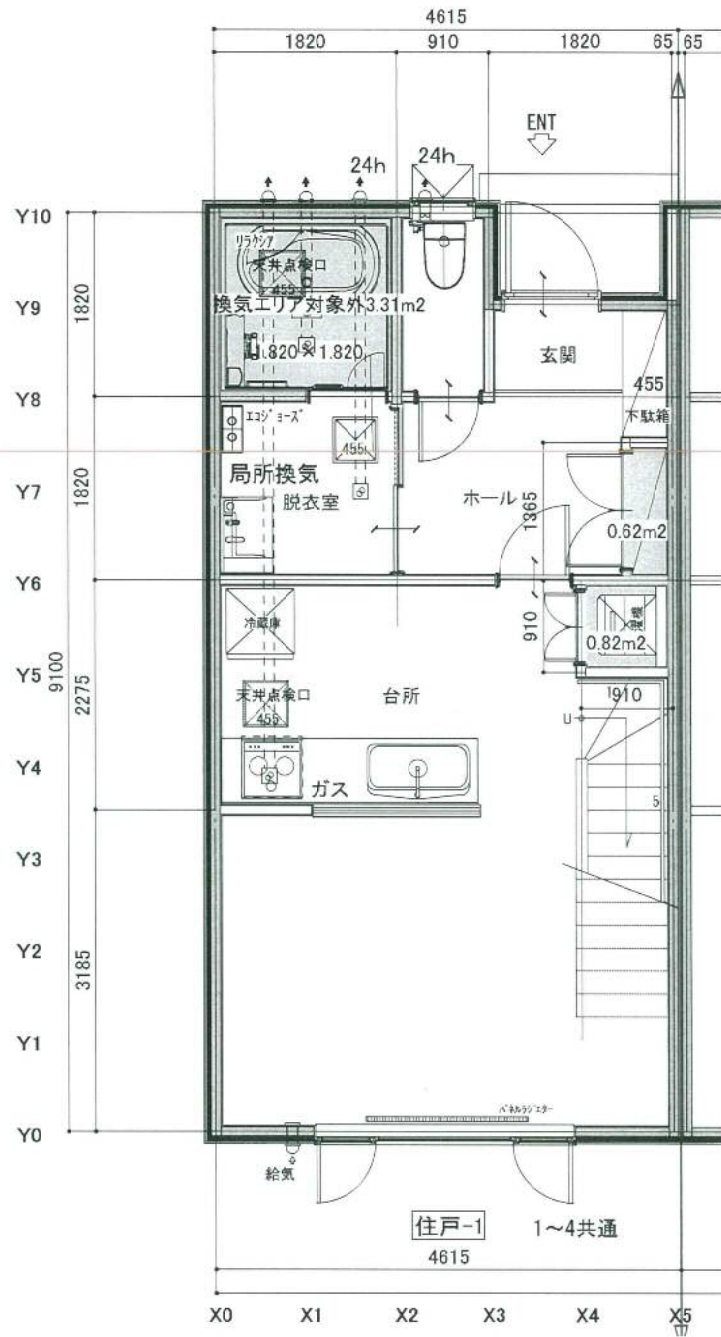


East Elevation

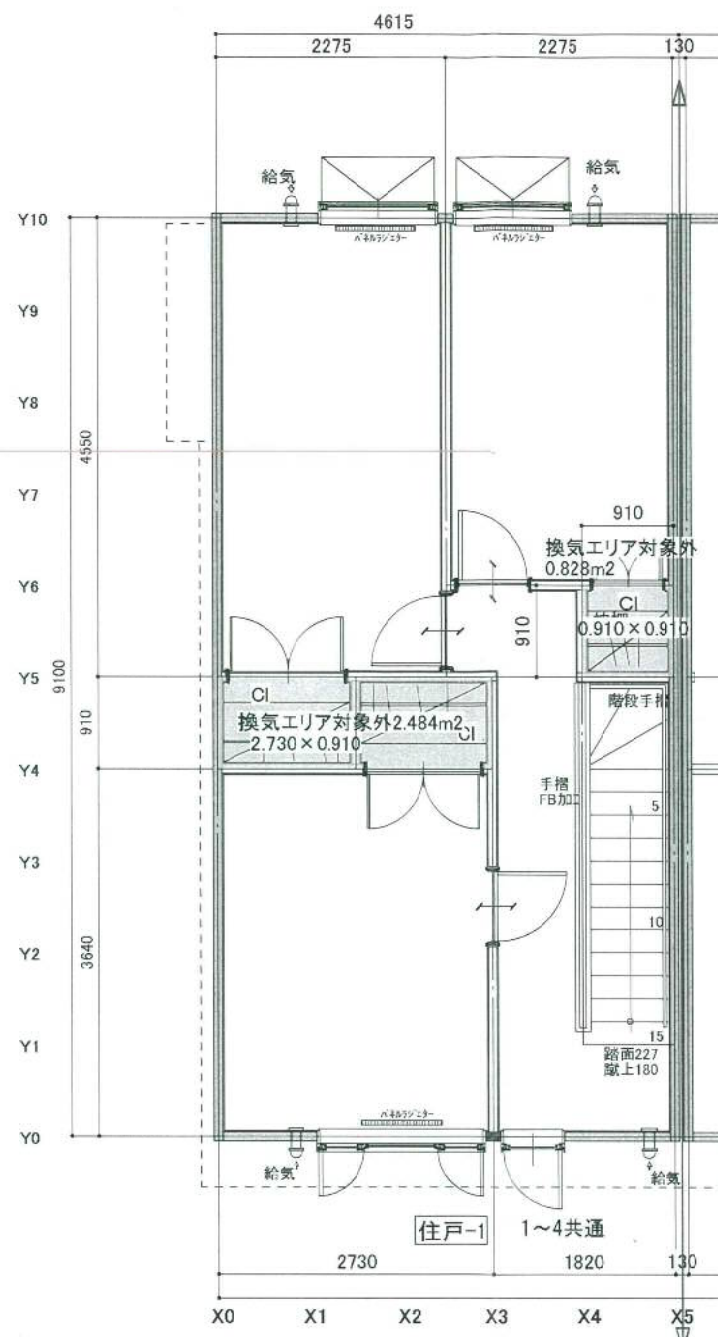


North Elevation





1階換気対象床面積 (35.53m<sup>2</sup>)  
 $39.74 - 3.31 - 0.82 - 0.62 = 34.99\text{m}^2$   
 平均天井高  $\approx 2.420\text{m}$



2階換気対象床面積 (38.10m<sup>2</sup>)  
 $41.40 - 2.48 - 0.82 = 38.10\text{m}^2$   
 平均天井高  $\approx 2.420\text{m}$

注1) 居室には、常時開放された開口部を通じて相互に通気が確保される廊下等の部分を含む  
 注2) 換気経路については、適切な給気口、排気口及び換気上有効な開口(隙間を含む)を有していること。(開き戸については、アンダーカット等を有していること。)

注3) 令第20条の6 クロルビリホスの使用はなし

告示274第一・給気機及び排気機は、全圧力損失(直管部損失、局部損失、諸機器その他における(圧力損失)を考慮して計算により確かめられた換気量とすること。

- 〃 第一・機器の継続使用中は、気流、温度、騒音等により、居室の使用に支障をきたさないこと
- 〃 第一・居室の空気圧が、小屋裏等(天井裏、小屋裏、床裏、壁、物置その他これらに類する部分)の空気圧以上であること。
- 〃 第一・(イ)小屋裏等と気密層、通気止め等により気密区画されていること。
- 〃 第一・(ロ)小屋裏等に第1種又は第2種ホルムアルデヒド発散材料を用いていないこと。

block	階数	部屋名	換気種別	A	B	C=A×B	D	E=C×D	使用機材	F	センサー
				床面積(m <sup>2</sup> )	平均天井高(m)	部屋容積(m <sup>3</sup> )	換気回数(回/h)	必要換気量(m <sup>3</sup> /h)		設計換気量Q(m <sup>3</sup> /h)	
a	1F	便所	3種	34.99	2.42	84.68	0.50	42.34	V-08KPL3	45.00	
		脱衣室	3種						V-08KPL3	45.00	
	2F	CI		38.10	2.42	92.20	0.50	46.10			
合計						176.88	0.51	88.44		(90.00)	

天井裏等への措置 ※1階、2階天井裏等に関してはF☆☆☆☆以上を使用。  
 ※1階小屋裏、1階床裏及び外壁と居室等との間には連続した気密層を設け、居室等と区画する。

